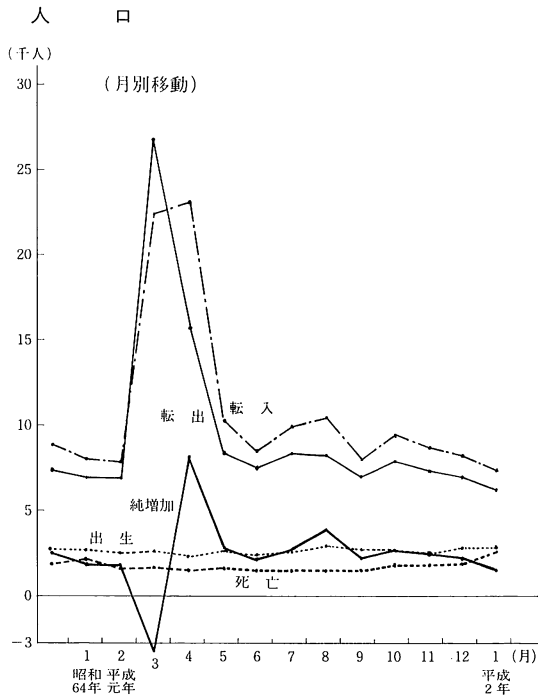
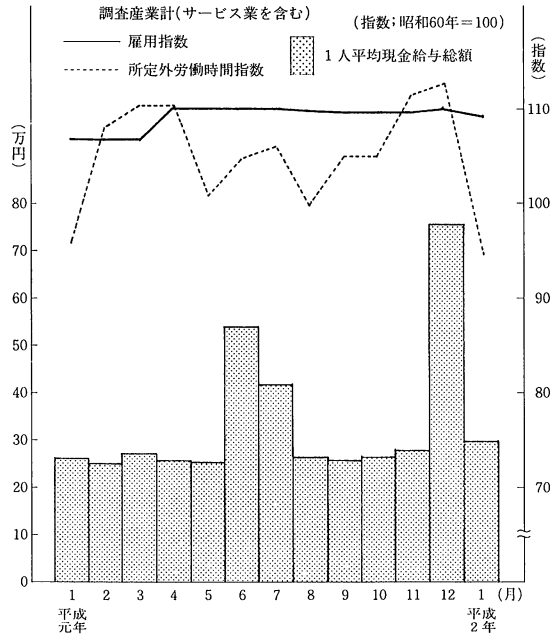


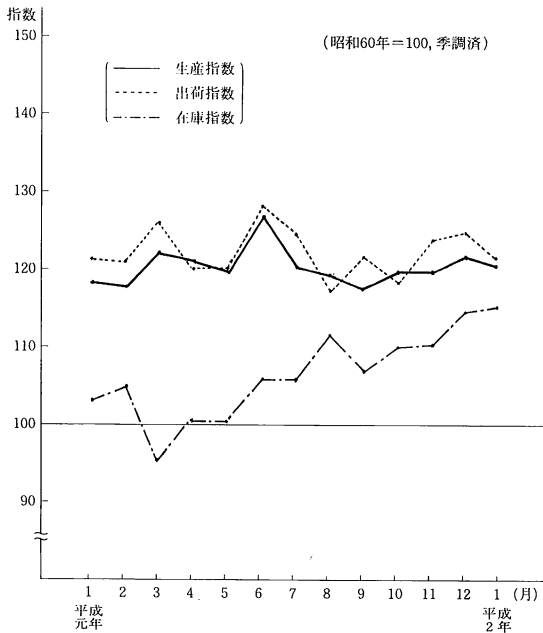
# 今月の主な動き



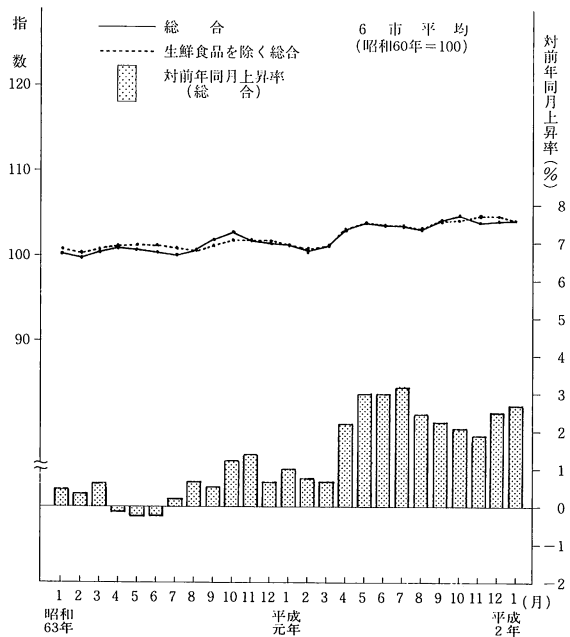
## 賃金・労働時間・雇用



## 鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



## 消費者物価指数



## 主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

### ■ 人 口 (2月1日)

本県の人口は、1月中に1,392人増加し、2月1日現在で2,834,093人(男1,412,849人,女1,421,244人)となった。

内訳は、自然動態で269人(出生2,528人,死亡2,259人)増加し、社会動態で1,123人(転入7,383人,転出6,260人)増加した。対前年同月と比べると27,797人の増加(増加率

0.99%)である。

市町村別では、増加が16市39町村,減少が4市29町村である。

世帯数についても1月中に849世帯増加し818,626世帯となった。

### ■ 賃金・労働時間・雇用 (1月)

#### 1. 平均賃金の推移

1月の現金給与総額は、調査産業計で291,521円,前年同月比11.0%増(前月は4.2%増)であった。このうちきまって支給する給与は254,037円,前年同月比3.7%増(前月は4.4%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は225,888円で、前年同月比3.6%増(前月は4.2%増)であり、超過労働給与は28,149円で、前年同月比4.1%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は前年同月比8.3%増であった。

#### 2. 労働時間

1月の総実労働時間は、調査産業計で157.4時間,前年同月比3.4%減(前月は1.2%減)であった。このうち所定内労働時間は140.6時間で、前年同月比3.6%減(前月は1.6%減)であった。また、所定外労働時間は、調査産業計で16.8時間,前年同月比は1.2%減(前月は2.1%増)と昭和62年8月以来の減少となった。

#### 3. 雇用の動き

1月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると2.2%増(前月は2.2%増)であった。

### ■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (1月分)

本県における平成2年1月の“鉱工業指数,(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が120.9,出荷が121.6,在庫が115.4で、前月比は、生産が△0.6%の低下,出荷が△2.5%の低下,在庫が0.9%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が1.9%の上昇,出荷が△0.1%の低下,在庫が12.1%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業,輸送機械工業,非鉄金属工業等が上昇し、化学工業,石油・石炭製品工業,食料品・たばこ工業等が低下した。出荷では、鉱業,繊維工業,非鉄金属工業等が上昇し、一般機械工業,電気機械

工業,鉄鋼業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業,輸送機械工業,鉱業等が上昇し、食料品・たばこ工業,化学工業,精密機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財,鉱工業用生産財等が上昇し、非耐久消費財,建設財が低下した。出荷では、その他用生産財,耐久消費財等が上昇し、資本財,鉱工業用生産財等が低下した。在庫では、その他用生産財,耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財,鉱工業用生産財が低下した。

### ■ 消費者物価指数 (1月)

平成2年1月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で104.0(昭和60年=100)となり、前月比0.2%の上昇,前年同月比2.9%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草0.2%,果物4.1%,魚介類2.8%

今月下がった主な項目……衣料△8.4%,シャツ・下着△6.1%,保健医療用品・器具△4.4%,乳卵類△2.3%

生鮮食品を除く総合は103.9となり前月比△0.6%の下落,

前年同月比2.9%の上昇となった。

#### 費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	104.0	0.2	2.9	保 健 医 療	104.8	△0.9	1.6
食 料	103.4	2.1	3.0	交 通 通 信	102.3	0.0	2.3
住 居	112.7	0.2	3.6	教 育	116.7	0.0	3.1
光熱・水道	88.0	0.0	0.5	教 養 娯 楽	107.6	0.4	5.6
家具・家事用品	100.4	0.0	1.2	諸 雑 費	105.5	0.3	1.9
被服及び履物	105.0	△5.5	2.3	生鮮食品を除く総合	103.9	△0.6	2.9